

議案概要

平成20年12月議会定例会は、12月9日から16日までの日程で開かれました。
一般質問は11日・12日の2日間行われ、6人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議案審議は16日に行われ、提出された12議案は全て原案通り可決されました。

平成20年12月議会定例会



今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

平成20年度 一般会計補正予算

既定の予算総額に1849万円を追加し、歳入歳出予算の総額を39億5586万3000円としました。
歳出の主な内容は、総務費：地区集会所補修等補助金234万8000円、建物解体撤去工事500万円、地方バス路線維持対策費補助金319万5000円、民生費：国保事業勘定繰入金165万2000円、介護保険特別会計繰入金102万1000円、後期高齢者医療特別会計繰入金301万1000円、保育所運営費措置費654万6000円、農林水産業費：耕せふくしま遊休地再生事業補助金172万3000円、高齢者等肉用雌牛貸付基金繰入金△250万円、宿泊体験館きこり修繕料107

万4000円、あいの沢配水設備改良工事121万8000円、教育費：奨学金貸付金△1020万円、いたてつ子未来基金元金積立120万円、給食センター調理場備品102万9000円などです。

これらを賄う財源として、地方交付税、国県支出金、繰越金、村債等を充当しています。

平成20年度 飯館村国民健康保険 特別会計補正予算

既定予算総額に2791万円を追加し、歳入歳出予算の総額を9億1290万3000円としました。主な内容は、一般分療養給付費1104万8000円、一般分高額療養費204万2000円、保険財政共同安定化事業拠出金1248万8000円などです。

平成20年度 飯館村診療所 特別会計補正予算

既定予算の総額に269万円を追加し、歳入歳出予算の総額を9876万4000円としました。

主な内容は、医薬品衛生材料費253万5000円であり、医科及び歯科診療収入等を充当しています。

平成20年度 飯館村簡易水道事業 特別会計補正予算

きることを定めるものです。

人権擁護委員の 候補者の推薦について

嘉藤京子さん(白石)を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求めるものです。

村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

村表彰式

9月29日村公民館において挙行了しました。

今年の表彰者は、特別功労表彰1名、功労表彰1名、善行表彰3名の合わせて5名の表彰を行いました。

いずれも村政振興に多大のご貢献をいただいた方、または村民の模範となる善行を長年続けられてきた方であり、受賞された5名の方にに対し、村民を代表し感謝と御礼を申し上げます。

統合診療所並びに 光ファイバの整備

2つの事業とも、村の方針・考え方について、参加された方々からは概ね理解が得られたものと考えています。今後、村民へのサービス向上のため、村政懇談会で出された貴重な意見や

議案概要

平成20年度 飯館村介護保険 特別会計補正予算

既定予算の総額に152万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億6949万4000円としました。
主な内容は、地域密着型介護サービス給付費負担金250万円、介護予

平成20年度 飯館村農業集落排水事業 特別会計補正予算

既定予算の総額21万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億7981万5000円としました。
主な歳出は、簡易水道施設の電気料21万7000円であり、繰越金を充当しています。

平成20年度 飯館村後期高齢者医療 特別会計補正予算

防サービス給付費負担金300万円、特定高齢者施策事業費△520万円などで、財源として、繰入金、繰越金を充当しています。

飯館村税条例の 一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人村民税に係る現行の控除対象寄付金に、社会福祉法人飯館村社会福祉協議会及び社会福祉法人いたて福祉会の2団体を追加指定するものです。

職員の自己啓発等休業 に関する条例の一部を 改正する条例

独立行政法人国際協力機構法の一部改正が行われ、対象条項の語句が改正されたため、所要の改正を行うものです。

追加議案

一般職の任期付職員を採用及び給与の特例に関する条例

要望等を、事業に充分反映できるよう進めていきます。



▲地区説明会のようす

いいたて秋まつり

10月25日・26日の2日間、村公民館などを会場に開催されました。総合文化展、健康フェスタ、相農飯館校の紅葉祭、JAまつり、商工まつりなど、趣向を凝らした多彩なイベントが行われ、終日家族連れなどで賑わっていたようです。

いいたてまでい交遊塾

11月8日・9日の2日間、いちばん館をメイン会場に開催しました。昨年は「日本再発見塾」を東京財団と

共催で実施し、「までい」を村外に向け発信し、成果をあげることができました。今回は主に村民を対象とした「までい」を語り合い、その精神をお互い再確認しながら、今後の村づくりに活かそうと開催しました。スタッフを含め160人が参加し、「までい」について、3人の講師並びに村外の実践者 exchanges、意見交換をすることで、「までい」の多様性を見出すことができ、大変意義深いものとなりました。

また、「いいたて・までい」な村づくり応援スタッフの一員である増子良一さん(県職員)が作詞作曲した「までいライフいいたて」という応援歌CDが村に寄贈されました。すばらしい応援歌ですので、今後村民に愛称されるようPRに努めてまいります。

ふるさと納税制度

このほど、ふるさと納税の寄付をしたという方が

おられましたので、当面の措置として現在村が設置している目的基金の中から当人に選択してもらい、その基金に積立することとしました。引き続き3月の定例議会までに具体的な提案ができるよう検討していきます。

ゴミ処理状況

本村の一般廃棄物の処理について、現在の焼却施設の処理能力及び埋立最終処分場の許可期限が迫っていることに鑑み、可燃ゴミ分について処理委託できないか、南相馬市と事務レベルで協議して参りましたが、正式に南相馬市に処理委託をお願いしたく、11月7日に要請文を提出しました。

現在、南相馬市としても今年度中に今後の廃棄物処理計画を策定することとされており、村からの要請に対しては協議して頂くことになっていきます。今後とも充分協議してまいります。

交通事故防止運動及び防犯運動

12月10日から21年1月7日までの29日間、「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が実施されます。この期間は、凍結等による危険な道路状況や年末年始で飲酒の機会も多い時期であり、振り込め詐欺・忍び込み、空き巣、窃盗等、金融関係の事件が多発する時期でもあることから「年末年始の事件・事故防止運動」として、11月27日に村生活安全協議会の交通安全部会と防犯部会の合同会議を開催し、広く村民に広報することとしました。

厚生労働大臣表彰

11月28日に「までいな健

康づくり事業」で「公衆衛生事業功労者厚生労働大臣」表彰を受賞しました。この表彰は、村の30年来の健康づくりが評価されたもので、今後の健康づくりの励みとなるものです。

統合診療所

11月17日に統合診療所設計競技の審査委員会を設置しました。11月21日には指名業者5社に対し、統合診療所設計競技説明会を開催し、5社全員参加によりエスキス方式で、12月22日までの期間で競技中です。

※エスキス方式：フランス語で設計における「下書き」や「スケッチ」の意味。建物のイメージ図やどのようなコンセプトで建物を建てるかを提案してもらい、それを審査して設計者を決める方法。

健康フェスタ

10月25日には健康フェスタがいちばん館で開催され、2000人を超える参加者

乳幼児医療費助成

10月1日から助成年齢を小学校入学前から小学校卒業まで引き上げを行いました。このことにより新たに対象児となる小学生は、社会保険等で232人。国保で106人の合計338人です。

ホームヘルパー養成講座

12月7日に、2級ホームヘルパー養成講座の閉講式を行いました。修了証書の交付を行いました。受講者36人中、飯館校生が17人、一般村民が18人の計35人が修了証書を受けました。

野菜の集荷状況

平成20年の作況指数については、県平均が100の平年作、浜通りは97のやや不良となっています。

JAの産米集荷状況ですが、11月18日現在、農家からのうち・もちを合わせた出荷申出数量が60328袋なのに対し、501298袋であり、85%の集荷実績です。金額的には、約2億8000万円で昨年より幾分多くなっています。

等級別では1等米は34・6%、2等米が52・6%となつていますが、天候不順の影響で1等米については昨年より10ポイント程度低くなつています。

野菜の集荷状況

インゲンでは7170万円で野菜では一番の販売高となっています。

今年は、単価が1割ほど安くなつていますが収穫量で前年比230%と大幅に伸びて、金額では2640

花卉の出荷状況

トルコギキョウは順調に数量・金額ともに伸びており、1億200万円と昨年に引き続き1億円を超えています。

リンドウも生産量が伸びていますが、景気低迷と原油価格の高騰により、一般家庭での消費が落ち込み、

畜産状況

単価の低迷となつていますが、村の花弁全体では生産量が増しているため昨年同時期より1000万円多い1億5000万円となっています。

原油・穀物の高騰により、餌である飼料の価格は依然として高騰し、世界的な景気後退により、高級品である牛肉の消費落ち込みも続いており、枝肉価格も大幅に下落しています。このような状況下で子牛価格も低迷し、負の連鎖となつて本村の畜産に大きな打撃を与えています。

本宮の2月の平均が49万6000円、その後毎月せり価格が下がり続け、10月が今年度最安値の34万9000円と、前年に比べ一頭当たり14万7000円も安くなつており、繁殖農家に大きな影響を与えています。先月のせり価格は幾分戻しており、原油価格も値上がり以前の単価に戻りつ



▲建設予定地での地鎮式の様子

つありますので、飼料価格も年明けには落ち着くものと思つていきます。

企業立地支援

向押の工場用地造成工事の造成の部分については、予定どおり11月末に竣工しています。

工場の新築工事については、(株)菊池製作所にて建築内容の見直しがあり、予定より大分遅れて12月着工3月竣工、4月操業開始を目指し進められているところです。

今後とも、操業の遅れによる新規採用等への影響がないように、さらに密な連

携をとりながら対応したいと考えています。

もりの駅

「まごころ」

11月1日でオープン1周年を迎え、1日から3日までの3日間、オープン1周年祭を県原子力等電源地域振興事業の「いいたてまでい流 情報・交流事業」の秋のワクワクまつりと併せ実施しました。期間中延べ1200人以上の来場を得ることができ、盛況の内に終わることができました。

今後は、冬期間に向けた販売対策として、計画的に加工品などの充実を図り、昨年以上の入客確保と売上向上に向けて努力していきたいと考えています。

マイ箸事業

県のサポート事業で村内産の箸材を利用して、「マイ箸づくり教室」を秋まつり会場と、まごころでのオープンイベントの中で3日間行いました。村内を始め、

村外からの親子連れやお年寄りなど連日80人以上の参加があり、良い取組みだと好評でした。

特産品開発への取組み

村の特産品については、それぞれの取組みがなされていますが、昨年から取り組んでいる「飯館オリジナル牛井」と「飯館牛カレー」を、郡山市で開催された2008全国生涯学習フェスティバル「まなびピアふくしま



▲「まなびピアふくしま」で特産品をPR

」の会場で販売しました。また、11月29日から12月1日までの3日間は福島市の「コラッセふくしま」で「飯館牛井・飯館産品フェア」を開催し、両会場ともに高い評価を得ています。

都市間交流

今年の5月以来、東京都の新宿区を中心とした、東京食肉組合との交流事業を展開しています。

10月の村まつりに併せて、約30人が2日間にわたり、振興公社を始め村の各施設を見学し、村商工会組合員との交流会、秋まつり会場を見学して交流を図りました。

除雪体制

1次路線は、除雪機械のリース3台と建設業者7社で保有する土木作業機械により55路線、104kmを実施します。

2次路線は行政区委託により、昨年から実施しているものです。

これは地域内の農耕用機械等を利用して除雪し、地区内交通の円滑化を図るものです。全体の2次路線は、126路線104km、その内の31路線21km、約20%を7行政区に委託して実施します。

検閲式見学会及び音楽鑑賞会

10月5日に村消防団、陸上自衛隊東北方面音楽隊のご協力により、小学生、中学生を対象とした消防団検閲式見学会及び音楽鑑賞会を実施しました。

消防団員の糸乱れぬキビキビとした動きを見せることができ、子どもたちに規律ある行動の良いいお手本を示すことができたと考えています。

また、自衛隊演奏会では、楽しく、また、勇壮な生演奏を聞かせることができ、子どもたちにとつ

て貴重な体験になりました。

「やったね!」事業

11月30日に歌手の沢田知可子さんによる特別授業とコンサートが開催されました。「やったね!」事業は中学生自らの企画立案により、多くの関係者の協力を得ながら実施され、コンサートには一般村民を含め600人あまり来場し、大きな事業を見事に成功させることができました。

この体験は中学生の今後の成長過程の中で必ずや大きな自信と誇りとなり、自分の目標に向かって進んでいく力になるものと確信しています。

文部科学大臣表彰

本村学校給食センターが11月13日、長崎県島原市で行われた第59回全国学校給食研究協議大会の席上、平成20年度学校給食優良共同調理場として文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、長年にわたり村

内産米を学校給食に利用していることや村内産の野菜の利用に努めていること、「もりの駅まごころ」で生産された米粉パンを導入していることなど、一連の地産地消の取り組みが評価されたものです。

県地域づくり総合支援事業 (サポート事業)

「まごころライフ」の普及と地球環境問題をテーマとして、食用廃油を利活用した「ろうそくづくり講習会」を8月から4回実施し、延べ96人が参加しました。

また、9月30日「村民の日」の夜には、村公民館で「まごころナイト キャンドルコンサート」を開催しました。村公民館内の電気をすべて消し、玄関から大ホールまで「手づくりろうそく」を灯しながら、紙芝居やオカリナ演奏、絵本の読み聞かせなどを行い、参加者と一緒に村の誕生日を祝い、「まごころライフ」や地球環境に

ついて考えました。

第2回市町村対抗福島県軟式野球大会

県内自治体から59チームが出場し、村野球連盟を中心に編成した選抜チームが出場しました。

選手の皆さんには、村の代表という想いを持って、チーム一丸となって戦ってくれましたことに感謝をします。

全国生涯学習フェスティバル「まなびピアふくしま2008」

10月11日から15日までの5日間、郡山市を会場として開催されました。

県内すべての自治体を取り組み、村においても、今年度の主要事業の実践事例を写真パネル等で展示・発表をしました。「牛革工芸」や「海洋アドベンチャースクール」などの事業が来訪者の興味を引いたようです。

村民体育大会

10月12日に45回目を迎えた村民体育大会が行われ、多くの村民がスポーツを楽しむとともに、日頃、とかく疎遠となりやすい地域の方々が顔を合わせ、交流を深められました。

子どもの出場枠を増やしたり、新しい種目として「縄もじり」を取り入れたり、子どもから高齢者まで多くの村民の皆さんが楽しめる大会となり、大いに盛り上がりしました。

総合文化展

10月25日から26日の2日間、秋まつりの一環として開催しました。

今年の文化展には、464人の村民の方に931点の作品を出品していただきました。期間中、約1200人の皆さんに会場いただき盛会な文化展となりました。

NPO法人ユニバーサルデザイン・結との協働事業

村内小学校4年生から6年生全員を対象に、インスタントカメラで「人へのやさしさ」を感じる姿や物、現象を撮影、その時に感じた思いをメッセージで表した作品のコンテストを10月25日に開催。総合文化展に展示しました。子どもの視線でみた「やさしさ」が表現された作品に感心させられました。

また、ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」大会を11月9日に飯館中学校体育館で22チーム、70名の参加を得て開催しました。

「ボッチャ」は、子どもから高齢者、障がいを持つ方など、誰もが楽しめる室内スポーツです。

5月から村体育指導委員の協力を得ながら、地区のミニディやふれあいピクなど普及啓蒙を行い、大

会を開催しました。

ふくしま駅伝

白河市から福島市までの96・2km、16区間を1本のタスキでつなぐ、第20回ふくしま駅伝が11月16日に行われました。

今年もベテラン選手と新人選手の編成によるチームでのぞみ、選手の皆さんには、個々の力をだしきり、総合19位、村の部準優勝という成績をおさめ、多くの村民に感動を与えていただきました。

大会当日は、多くの村民の皆さんがコース沿道まで出向き、手作りの横断幕などの応援をいただきました。



▲たくさんの応援を受けたふくしま駅伝